

平成26年 年頭所感

会員の皆さんには、それぞれ気分を新たに、新年を迎えられたことと思います。

奈良県弓道連盟も、今年は役員改選の年であります。私は、当初5期10年というつもりでしたが、結局6期12年、会長をやらせていただきました。そろそろ次の世代に引き継ぐのが筋かと、臨時評議員会にて、次期会長に西中正氏を推挙していただきました。全日本弓道連盟も公益財団法人として、新しい局面を迎えております。そのような中で加盟団体として、地連にも、いろんな課題が出てきております。そのためには会員各位の協力が必要です。よろしくお願いいたします。

何はともあれ、健康で、弓に親しめることが一番です。私の治療も後2クールで終わります。春には皆さんと一緒に弓を引けるのを楽しみに、療養生活を送りたいと思っております。皆さんの健康を祈念して、念頭の挨拶とします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆ 平成26年新年初射会 (+支部・地区対抗戦)

日時 平成26年1月5日 (日)

場所 橿原公苑弓道場

参加者数 156名

年末の厳しい寒さも少し和らぎ新年を迎え、本年の新年初射会も吉本会長の矢渡しでスタートしました。



まず、昨年の年間表彰者および中央・連合審査合格者の演武が行われ、素晴らしい射が披露されました。

その後の競技会に入っても一手2回の真剣な行射が参加者全員によって行われた。

昨年の年間表彰者および中央・連合審査合格者、支部・地区対抗戦の結果は以下の通り。

(右上へ)

【年間表彰者】

- ・第68回国民体育大会(東京) 成年男子 遠的4位
新子 修平 (五條)
辻本 元威 (香芝)
山口 亮二 (生駒)
- ・第32回全国高等学校弓道選抜大会 個人3位
直鳥 友香 (奈良北高)

【中央・連合審査合格者】

- ・七段
西中 正 (五條)
- ・六段
明瀬 綾子 (奈良)
綿松 昭寛 (橿原)
平井 摂子 (郡山)
- ・錬士
乾 光孝 (香芝)
下川 治子 (郡山)
- ・五段
原田 祐介 (橿原)
丹羽 秀聡 (奈良)
中野 順平 (橿原)
境 陽子 (橿原)
上地 洋子 (橿原)
奥田 章人 (橿原)
平田 和豊 (県教室)
揚田 よう子 (奈良)

【支部・地区対抗戦結果】

- 1位：橿原支部 29中
- 2位：天理大学 28中
- 3位：奈良支部 25中

(競技部)

祝 第32回全国高等学校弓道選抜大会

個人女子 第3位 入賞

県立奈良北高等学校 直鳥友香さん

平成25年12月21～23日 大阪市中央体育館 特設道場にて開催されました。直鳥さんは予選、準決勝とも皆中し、決勝射詰においても4本まで詰め、5本目において3位が決定しました。

おめでとうございます。

(高体連)

◆ 式年遷宮の年に・・・

昨年、伊勢で全日本女子選手権、出雲では全日本弓道遠的選手権が開催されました。式年遷宮という節目の年に県代表として出場させてもらった事はとても嬉しく思っています。伊勢の道場へ初めて行ったのは、数年前の全日男子の試合を見学に行った時…その時は、まさか自分が全日に出場するなんて思いもしませんでした。

一日目は伊勢神宮参拝、開会式、佐竹先生の矢渡しで終了しました。二日目予選では、上座の先生方近い！観客席近い！という前回の中央道場では広すぎてあまり感じなかった距離感が緊張！手足が震えました。前回より点数は上がりましたが、的中が半矢ではなかったので今年も順位はつきませんでした。予選の合間、決勝では他県の先生方の迫力ある射が近くで拝見出来て勉強にもなり、いつか自分も力強く凛とした弓引きになりたいなあ。と思いました。

そして一ヶ月後…出雲へ。今度は男子選手と一緒に奈良を出発しました。一日目選手全員で出雲大社参拝。出雲ドーム内で風に影響されない中で行われた競技は(強風が原因で！中りが…なんて言い訳出来ない状況です)伊勢とはまた違う雰囲気でした。二日目予選一回目は余計な事は考えず集中出来て気持ち良く離れて〇〇。この調子で二回目も！と“一回目のよい射のイメージ”を追いかけすぎて自滅。一本一本を大事に引く事が出来なかったと反省。夏の国体強化中での射距離を変えた練習で 60mがそんなに遠く感じなくなっていたのですが…やっぱり的は練習の時よりさらに小さくみえました。

県代表として色々な経験をさせてもらえて感謝の気持ちでいっぱいです。伊勢・出雲のお土産には「課題」も持って帰ってきたので、この経験を無駄にせず…ちゃんと活かせるように、応援して下さいる気持ちにも応えられるように日々の修練を頑張っていきたいと思います。

伊勢では暑い中応援に来ていただいた皆さん、出雲へも応援に来て下さった方本当にありがとうございました。

(樫原 東中)

◆ 第18回 布目108中射会

恒例の布目108中射会は今回も昨年の大晦日に布目弓道場で開催された。

前夜の雨が凍結して途中の道路がツルツルになり、脱輪したり横向けになって立ち往生している車を横目にしながらなんとか道場にたどりついたが、たどりつけない者や大回りして開始時間に間に合わない者も出るような状況であった。

矢ぶりをを行い、定刻9時を少し回って競技が始まった。

(右上へ)



1番手の上地さんがいきなり的中する幸先の良いスタートになった。

吉本先生は病氣治療中ということもあり、体調を考慮しての途中参加でしたがいきなり1手皆中、失礼ながら思わず拍手が起こり、86、87中目をものにする場面が印象的であった。この後も95中目、106中目と的中が続き、時間短縮に大いに貢献していただいた。

射納めの108中目は午後1時18分となり、例年より少し早目の終了であった。

成績は次の通り。

108中賞 羽田幹枝(初参加)
アシスト賞(107中目) 真鍋
飛び賞 岡本(25中目)、桑原(50中目)
諸熊(54中目・折り返し点)
南(60中目)、河合(75中目)
石堂(90中目)、宮口(100中目)

競技データは参加者が31名(過去最多)、総矢数359本、的中率約30%、競技時間4時間13分であった。

表彰式のあとは年越しそばとおでんで懇親会を行い、安土の整備を行って無事お開きとなった。

(報告：松井成之)

◆ お知らせ

来年度(平成26年度)新たにスポーツ指導員取得を目指し、県連主催する「スポーツ指導員養成講習会」の受講希望者は、各支部の代表者へその旨をお伝えください。参加対象者は、全日本弓道連盟の式段以上の受有者で、年齢が22歳以上となっています。

各支部の代表者は、1月末までに指導部の西浦までご報告ください。それまでに連絡がない場合は、希望者がいないという判断をします。よろしくお願ひします。

(指導部から)



◆第26回 奈良県 大学選手権大会

- 1 日時 平成25年11月24日（日）
- 2 主催 奈良県弓道連盟
奈良県弓道連盟大学生連合会
- 3 会場 橿原公苑弓道場
- 4 種目・種別：男子・女子 団体の部、個人の部
- 5 競技規定
団体戦 3人立3射場 立射 各自8射 計24射
個人戦 予選5中以上の通過者で射詰めを行う
- 6 表彰 団体各1位～3位、個人1位～3位
男女団体各優勝大学には「会長杯」授与

今回は天理大学が主幹校をさせていただきました。初めて仕事の役割分担をさせていただきましたが、こちらの不手際で事が上手く進まないことがありまして申し訳ございませんでした。各大学さんのご協力もあり、大会が無事終わることが出来ました。天理大学一同感謝致しております。誠にありがとうございました。

成績は以下の通りです。

<団体戦>

男子

- 優勝 天理大学A 田中 智、森下大和、向本啓太
- 準優勝 奈良教育大学A 中嶋優隆、高崎智裕、石谷遼一
- 第三位 天理大学B 森田雅人、中原祥貴、西村知浩

女子

- 優勝 天理大学A 谷藤実希、小川菜摘、村上亜里
- 準優勝 奈良県立医科大学E 中嶋一菜、西岡幸菜
高井優奈
- 第三位 奈良教育大学B 島川織恵、春尾咲妃
渋谷香菜子

<個人戦>

男子

- 優勝 田中 智 (天理大学)
- 準優勝 向本啓太 (天理大学)
- 第三位 西村知浩 (天理大学)

女子

- 優勝 岸上奈津美 (奈良女子大学)
- 準優勝 井上眞希 (天理大学)
- 第三位 中嶋一菜 (奈良県立医科大学)

(担当 天理大学)

◆臨時評議員会

平成26年1月5日の初射会終了後、臨時の評議員会が橿原公苑弓道場で開催されました。竹村副会長から、評議委員会は最高決議機関であるので、十分に議論をして欲しい。との挨拶があり開会。議題は以下の通りです。

■ 役員改選 (平成26・27年)

- ・吉本会長の退任に伴う新会長選出について意見を求めたが、特に意見が出なかつたため、理事会案を提示。規約第9条に基づく吉本名誉会長・西中会長・新司副会長・深田副会長・阪中副会長・西浦副会長及び高体連派遣副会長(新年度就任予定)の役員案が全会一致で了承された。
- ・その後、以下の新役員について報告。

井倉相談役・須田副会長・竹村副会長の顧問就任
阪中副会長の理事長の兼務、藤岡総務部長の副理事長の兼務、西浦副会長の指導部長兼務及び、総務部・財務部・審査部・強化部・競技部の各部長の再任

- ・地区推薦理事及び評議員については定数に基づいて、各地区より2月中旬予定までに事務局に報告。
- ・職域等は、シャープ・東洋スクリーン工業・天理よろづ病院・関西電力・教職員・錬弓会(県弓道教室)により構成されることの確認。

■ 会費規定について

- ・全弓連からの地連分担金の算出基準の変更についての概要説明。
- ・会費規定の変更案(新たに分担金を会員各個人から徴収)の提示。
- ・会費規定への記載方等についての提案をうけ、一部修正しながら原案可決。
- ・登録者の分担金の徴収について議論。休会者の復帰と新規登録に関しては、分担金相当額を公平性の観点から徴収すること。及び、7月1日以降の県外からの編入者については分担金が二重徴収になる可能性があるため徴収しないことが可決。

このことにより、これまで団体登録されております一般会員の方は、恐れ入りますが個人登録へ移行していただくようお願いします。

■ その他

- ・消費税率引き上げに伴い、審査受審料・登録料・大会参加料等が改定されます。

編集後記

平成26年が始まりました。会員各位は本年の目標を新たにされたことと存じます。今年も皆様にとって素晴らしい年となりますように。